

令和4年度入学生 キャリア教育全体計画書

学校番号	47	学校名(課程)	諏訪実業高等学校(全日制)
------	----	---------	---------------

1 全体目標

○ 自己理解を深め、自らの人生を設計するために必要な能力や態度を育てる。

2 現状・課題

生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて、必要な基盤となる能力や態度を育てていくことは、キャリア教育において重要である。基本的な生活習慣を確立させるとともに、学習や諸活動に主体的に取り組む意欲を維持しながら、基礎学力や専門分野の知識・技能、社会生活で必要となる汎用的能力を習得することで、キャリアデザイン力の育成を目指す。

3 つけたい力

【基礎的・汎用的能力】(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)【キャリア・デザイン力】を含める。

学校で言い換えた力でもよい。

- a 社会環境に適應できる力
 b 主体的に行動できる力
 c 他者と協働できる力
 d 創造的実践力 ※本校 GRAND DESIGN より

4 内容

指導項目	指導方針〈対応する項目〉
① 自己の在り方、生き方を考え、社会参画の意識を醸成する	ア 教育活動・学校生活全体をキャリア教育の場と捉える。〈①②③④⑤〉 イ 各取り組みのつながりを意識し、3年間の系統的な指導を行う。〈①②③〉
② 仕事や社会で必要となる力(基礎的・汎用的能力)を育む	ウ 就業体験等の事前・事後の指導を充実させ、その振り返りを通して生徒自身が自らの成長を実感すると同時に、課題にも気づくことができるような深い思考力とそれを自分で解決できる能力の育成をめざす。〈②③〉
③ 様々な学習や体験を通して勤労観、職業観の形成を促す	エ 家庭や地域社会、産業界等の力を活用し、地域主催の催し物にも積極的な参加を促す。〈①②③⑤〉
④ 卒業後の進路を選択し、職業を通してどう社会と関わり、どう生きたいのかを構想し続ける力を育む	オ 基本的な生活習慣を身に付けられるよう指導する。〈②〉 カ 各教科の授業を通して、人間の生き方について考える機会を増やす。〈①〉
⑤ 地域の伝統・文化・産業を知る	

指導場面等	指導計画・キャリア教育の視点等〈実施学年〉
教科の授業	・基礎学力の定着を徹底して図る(Baby Step、朝読書)。〈1、2、3年〉 ・専門科目の学習を通して、各種資格取得に取り組む。〈1、2、3年〉 ・思考力、分析力、表現力、問題解決能力の育成を重視するような授業を心がける。〈1、2、3年〉
総合的な探究の時間	・「諏実タウン」、「ファッションショー」、「学習成果発表会」等に向けて、専門科の特色を活かした取り組みを3年間かけて行っていく。〈1、2、3年〉
特別活動	・企業の方や卒業生による講演会〈1、2、3年〉 ・諏訪実ミニメッセ〈1年〉、諏訪圏工業メッセへの参加〈2年〉 ・京都視察研修〈2年〉
校外の体験活動(就業体験活動等)	・就業体験活動(全員＋希望者は複数回も可)〈1年〉 ・地域活性化に向けた取り組みと体験〈2年、3年〉 ・インターンシップ、看護師・理学療法士・作業療法士等の体験、夏のボランティア体験「サマーちゃれんじ」、ボランティア、オープンキャンパス(希望者)〈1、2、3年〉
地域や産業界等との連携	・インターンシップ(事前、事後指導を含む)〈1、2年〉 ・経営者と語る会、経営者ジョブシャドウ〈1、2年〉、採用内定生徒と採用担当者の懇談会〈3年〉 ・高校生のための企業研究会への参加〈3年〉 ・学校設定科目「文化ビジネス研究」を通して、地域活性化を目指して連携〈2年〉

評価	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート(取り組みの事前、事後)、意識調査(年度当初、年度末)〈1、2、3年〉 ・県教委の実施する「生徒意識調査」の活用(1、2、3年)
中学校との連携 (指導の継続性)	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校との連絡会においてキャリア教育に関する情報交換を行う。〈1年〉 ・公開授業や学校説明会で高校のキャリア教育を説明
校内の推進体制	<ul style="list-style-type: none"> ・「進路指導係」で全体の計画 ・「未来の学校委員会」において学校の未来に関わる内容について検討 ・全教職員で推進
キャリア・パスポートの取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「インターンシップ」、「諏訪実ミニメッセ」、「企業研究会」、「経営者ジョブシャドウ」、「経営者と語る会」、「文化ビジネス研究」、「諏実タウン」、「学校説明会」、「オープンキャンパス」への参加および取り組みを振り返ることで、キャリアデザイン力の育成を図る。〈1、2、3年〉

5 学年別指導計画

	1年	2年	3年
目標	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立(身だしなみ、挨拶、清掃、マナー等) ○自己を理解する ○進路についての関心を深める 	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力の育成 ○自己理解を深める ○働くことについて考える 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己確立、自己表現 ○進路実現をめざす
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○就業体験 ○諏訪実ミニメッセ ○経営者ジョブシャドウ ○2年次の科目選択 ○大学生生活体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○就業体験 ○経営者ジョブシャドウ ○諏訪実ミニメッセ ○3年次の科目選択 ○大学生生活体験 	<ul style="list-style-type: none"> ○進路実現までの具体的な目標設定、計画及び課題の明確化 ○企業勉強会 ○高校生のための企業研究会
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接、アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接、アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒意識調査(県教委) ・面接、アンケート

年間指導計画と各取組の関連

*就業体験活動、校外活動は□で囲む

	教科	総合的な学習の時間	特別活動	その他(面接・評価等)
1年	4 シラバス説明 家庭「自分らしく生きる」 6 国語「弁論大会」自己の主張を明確に文章化し、相手に分かりやすく伝えるスピーチ能力を身に付ける。 7 商業「ビジネスマナーの実習」	両科: 諏実タウン、服飾科: ファッションショー、学習成果発表会 に向けての取り組み (1年間を通して)	就業体験活動 オリエンテーション計画 事前指導	生徒の意識調査 面接 三者面談
	夏休		ボランティア体験「サマーチャレンジ」 看護師体験(希望者) 大学生生活体験	
	9		諏訪実ミニメッセ レポート作成・事後指導	
	12		インターンシップ、2年次科目選択	三者面談
	1 国語「コミュニケーションは創造的に」 3 春休		進路調査 大学生生活体験、経営者ジョブシャドウ オープンキャンパス(希望者)	生徒意識調査(県教委) 年間評価、次年度の計画
2年	学校設定科目「文化ビジネス研究」において、地域活性化のために地域と連携をする地域連携行事参加 (1年間を通して)	両科: 諏実タウン、服飾科: ファッションショー、学習成果発表会 に向けての取り組み(1年間を通して)	看護師体験(希望者) 進路調査	生徒の意識調査 面接 三者面談
	4 家庭「生活産業について」生活産業で働く人に求められることは何か。 6 国語「弁論大会」自己の主張を明確に文章化し、相手に分かりやすく伝えるスピーチ能力を身に付ける。		京都視察研修	
	夏休		インターンシップ、オープンキャンパス ボランティア体験「サマーチャレンジ」 大学生生活体験	
	9 商業「データベースの役割と活用」 10 商業「商品開発」		諏訪実ミニメッセ 3年次科目選択	三者面談

	1 保健「健康的な職業生活」 3 春 休		企業の採用担当者による講演会 大学生生活体験、経営者ジョブシャドウ オープンキャンパス(希望者)	生徒意識調査(県教委) 年間評価、次年度の計画
3 年	4 商業「会社におけるマナーとエチケット」 6 国語「弁論大会」自己の主張を明確に文章化し、相手に分かりやすく伝えるスピーチ能力を身に付ける。 7 現代社会・経済と法・課題研究「雇用、労働問題、社会保障」	両科: 誠実タウン、服飾科: ファッションショー、学習成果発表会 に向けての取り組み (1年間を通して)	卒業生のお話を聞く会 高校生のための企業勉強会 高校生のための企業説明会 看護師体験(希望者) 企業見学 オープンキャンパス(希望者)	生徒の意識調査 面接 就職指導、進学指導(～3月) 三者面談
	夏 休		企業応募前見学	
	9 商業「総合教育センターにおけるコンピュータ会計実習」 10「商品開発」 1 商業「プレゼン形式の発表」		採用内定生徒と企業採用担当者との懇談会 入学・入社のための準備 社会人のための講話	生徒意識調査(県教委) 進路状況まとめ、3年間の評価